

新会員オリエンテーション用

今日から ロータリアン



ロータリー情報研究会

CONTENTS

1	ロータリーとは	1
2	ロータリーの組織	2
3	ロータリーの歴史	6
	国際ロータリーの歴史	6
	日本のロータリーの歴史	7
4	ロータリーの基本理念	8
	ロータリーの奉仕理念	8
	ロータリーの目的	9
	四つのテスト	10
	社会奉仕に関する1923年の声明	10
	社会奉仕に関する声明	11
	モットー	11
	ロータリアンの行動規範	11
	中核的価値観	12
	五大奉仕部門	12
5	ロータリアンの義務と特典	13
6	ロータリークラブの会員と職業分類	14
7	クラブの組織	15
	クラブ委員会	16
8	クラブの運営	18
	クラブの主な会合	18
	親睦委員会	19
	クラブの奉仕活動	20
	ロータリーの学友	21
	ニコニコ箱	21
	例会出席とメイクアップ	22
	クラブ運営の柔軟性と革新性	24
9	地区組織	25
	地区の会合	26
10	国際ロータリー	27
	国際ロータリーの主な会合	28
11	ロータリー財団	29
12	ロータリー米山記念奨学会	34
13	ロータリーの特別行事（月・週・日）	36



1

ロータリーとは

1905年にシカゴで創設されたロータリーは、現在、職業・国・文化が異なる120万人を超える会員から成るネットワークであり、地域社会での草の根の活動や世界的な人道的奉仕活動を通じて世界に変化を生み出しています。

ロータリーは、会員同士の友愛を通じて生涯にわたる友を作り、国や文化を超えて世界の人々と国際理解を深め、友情をはぐくみます。そして、社会の倫理・道徳を高めながら、会員一人ひとりの職業のスキルやリーダーシップを生かし、地域社会や世界の問題に積極的に取り組んでいます。



一言でいえば、ロータリーは、利他の心を養い、人を育てるとともに、献身的な奉仕活動を行う世界的な団体です。

ロータリーを知る方法

ロータリーを知るためには、いろいろな文献がありますのでそれを勉強することも必要ですが、一朝一夕には参りません。まずロータリーに慣れることが第一です。それには例会に出席することです。ロータリーの活動は全て例会から出発します。そして例会以外の会合、つまりフォーラムとか、情報集会とかロータリーを知るための勉強会のようなものがありますので、それらの会合に出席することです。そして毎月配布されます公式地域雑誌（義務購読）「ロータリーの友」を読むことが大切です。また、できるだけ、ロータリーのウェブサイト (<http://www.rotary.org>) にもアクセスしてみてください。



ロータリーのエッセンス

リーダーのネットワーク (Join leader) :

ロータリーは、世界のさまざまな国や職業のリーダーのネットワークです。

アイデアを広げる (Exchange Idea) :

ロータリーは、多様な会員のアイデアや職業の専門知識を生かして、地域社会のニーズや問題に取り組みます。

行動する (Take action) :

ロータリーは、世界中の地域社会を長期的に改善するために行動します。

ロータリーは、クラブ、国際ロータリー、ロータリー財団の3本の柱で支えられています。これらが一体となって、世界中の地域社会に持続可能な変化を生み出しています。

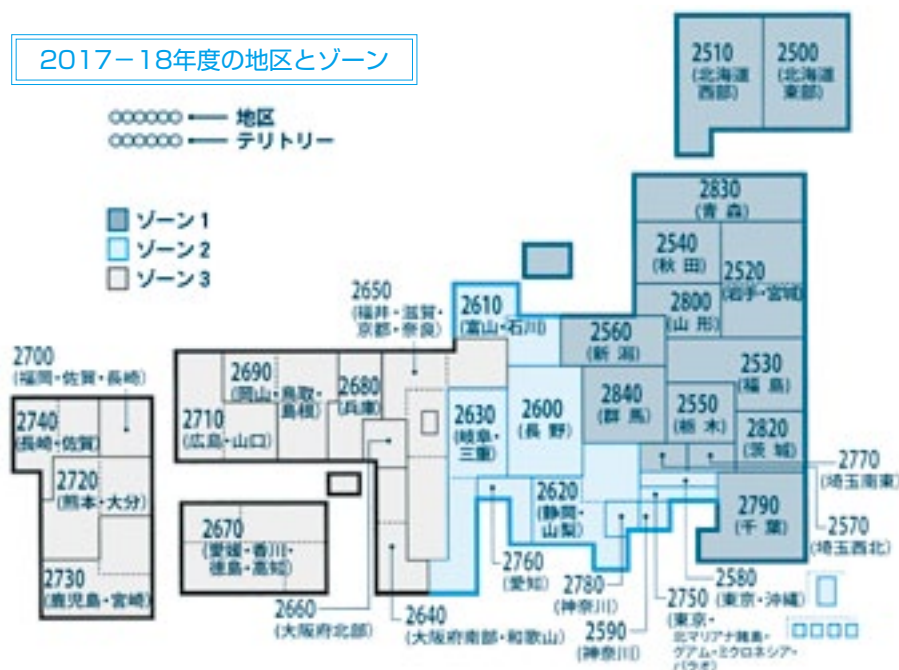
ロータリークラブ (Rotary Club)

世界各地のクラブは地元で根ざして活動しています。クラブの会員（通称「ロータリアン」）は、交流やボランティア活動を通じて視野を広げ、会員同士の友情や地域社会との絆を培っています。ロータリーの中核を成すのは、奉仕と友情を大切にする会員です。

ロータリーの会員は、クラブで仲間との友情を育みながら、アイデアを出しあい、地域の人々と共に草の根の活動をしています。

地 区 (District)

地区は、539（2017年7月1日現在）のR1地区に分けられ（日本は34地区）、R1役員である地区ガバナーが各地区を統轄します。地区ガバナーは7年以上のロータリー歴を有するロータリアンで、クラブ会長経験者の中から選ばれます。地区ガバナーの任務は国際ロータリーの役員として1年間、国際ロータリーの方針を地区に実施することです。また、ガバナーの任務を補佐する役職として、地区ガバナーはガバナー補佐（アシスタントガバナー）を委嘱します。ガバナー補佐や各種委員会を含む地区管理機構がクラブを指導、支援します。



ロータリーの創立と目的

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、青年弁護士“ポール・ハリス”はこの風潮に耐えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所が持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴ・ロータリークラブが誕生しました。

それからは志を同じくするクラブが、次々各地に生まれ、国境を越えて、今では世界200以上の国と地域に広がり、クラブ数は35,727、会員数は1,220,185人に達しています。(2017年8月末現在)

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリー (RI) と称します。

このように歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる事業および専門職務に携わる人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動が求められるようになり、現在は多方面にわたって多大な貢献をしています。

年月

国際ロータリーの歴史

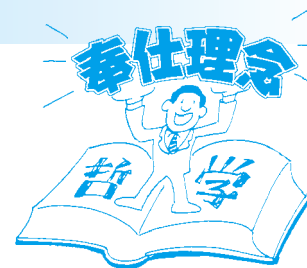
1905年	シカゴロータリークラブ創立
1906年	綱領とクラブ徽章として車輪のマークを採用
1910年	全米ロータリークラブ連合会を設立
1917年	ロータリー財団の先駆、ロータリー基金を設置
1922年	本部組織をRI (Rotary International) に変更
1943年	国際ロータリーが正式に「四つのテスト」を採択
1947年	ロータリー創始者ポールハリス死去
1950年	デトロイト大会において、「Service above self」 「He profits most who serves best」が公式標語として採択される
1955年	RI創立50周年記念国際大会をシカゴで開催
1985年	ポリオ・プログラム開始
1989年	女性会員が認められる
2005年	ロータリー 100周年国際大会 シカゴ
2009年	RIとビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団が共同でポリオ撲滅に2億ドル投入
2010年	EクラブがRIより正式に認められる
2013年	ロータリー財団の「未来の夢計画」が全地区で実施 ロータリーの公式ロゴ (Visual Identity) が変更
2014年	ロータリーの特別月間を6つの重点分野を強調するものに変更 (2015年7月より実施)
2016年	規定審議会結果、各クラブに柔軟性をあたえる (会員身分、例会がインターネットと従来型が可能、例会の頻度や取消、入会金、出席免除規定等が各クラブ細則で決められる)
2017年	ロータリー財団100周年



100年以上にわたり、私たちはロータリーの価値観と伝統をあらわす基本理念にしたがって行動してきました。ロータリーの基本理念は、ロータリアン共通の目的や指針として、長い年月をかけて形づくられたものです。互いの関係や行動の土台として、世界中のロータリアンがこれらの理念を大切にしています。

ロータリーの奉仕理念 (The Ideal of Service)

元来ロータリーの奉仕理念は、高度な哲学や宗教から出発したのではなく、人間が本来生まれながらに心の奥に持っている目に見えない精神、他人に役立ちたいという心を発掘し、育てていくことなのです。これがロータリーの生命力であり、また原点なのです。



(佐藤千壽 PDG)

かつて公式名簿 (Official Directory) の最終ページに記載されていた Brief History of Rotary には、奉仕の理念 (奉仕の理想) とは、「他人のことを思い遣り、他人のために尽くす」 “thoughtfulness of and helpfulness to others” という説明がつけられていました。

ポールハリスはその著書の中で、ロータリーの「奉仕の理念」について、『ロータリーの概念する奉仕の理念とは、ものの過程の最初に奉仕を置くものである。最も愚かな方法は金銭に集中することである』と述べ、さらに『有史以来、偉人中の偉人たちが、その言葉や態度で示したものは、「奉仕第一、自己第二」 “Service above Self.” という、まさにロータリーが要約した教義 (スローガン) を忠実に守ることであった。』と説明しています。

「ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕—Service above self—の哲学であり、He profits most who serves best という実践的な倫理原則に基づくものである。」

決議23-34

ロータリーでは奉仕理念の意味について様々な表現が行われました。

- ◆ 『超我の奉仕』
- ◆ 『最も良く奉仕するもの最も多く報いられる』
- ◆ 『他者に対する思いやり』
- ◆ 『自分にして欲しいことを何よりも先ず他者に与えること』

などがあります。奉仕理念の解釈は意図的にロータリアン各自およびロータリアンのグループに任されています。

(出典：目標設定プラン パンフレット No.3)

5

ロータリアンの義務と特典

2016年規定審議会の結果、クラブの柔軟性ということで、各クラブ細則により規定するものがありますので、各クラブ細則に従ってください。

会員の義務については、標準ロータリークラブ定款第17条でロータリー雑誌の購読義務、そして第18条に厳しく明記しています。「会員は、会費を支払うことによって、ロータリーの目的の中に示されたロータリーの原則を受諾し、本クラブの定款・細則に従い、その規定を順守し、これに拘束されることを受諾するものとする」そして更に「そしてこれらの条件の下においてのみ、会員は、本クラブの特典を受けることができる」とありますが、特典については詳しく記していません。

ロータリーは特典を得るための義務履行ではなく「奉仕理念」を学び、それを実践していく人を育てることで、しいて言うならば、有形のものではなく、人生哲学的なものと言えます。

義務

1. R I 定款・細則並びに R C 定款・細則を順守すること。
2. 会費を納入すること。
3. 例会に出席することおよび奉仕活動に参加すること。
4. 新会員を推薦すること。
5. 委員会活動、その他ロータリー・プログラムに参加すること。
6. 雑誌「ザ・ロータリアン」または「ロータリーの友」を購読すること。
(インターネットを通じての電子版も可)

特典

1. R C の会員には本人が希望してもなれない。会員により推薦され、選挙されて初めて会員となる。
2. 全世界に品性高潔な約1,236,000人の友人を得ること。
3. 全世界の R C 例会、ロータリー会合に参加できること。
4. 奉仕活動に参加できること。
5. ロータリアンとしての絶大な信用を得ること。
6. ロータリアンとして、適格な人を推薦することができること。

会員身分の終結

- ① 会費を納入しないとき
- ② 連続4回、クラブの例会を欠席し、メイクアップも行わない場合
- ③ 半年間にメイクアップを含むクラブ例会または衛星クラブ例会の出席率が少なくとも50%に達していないか、クラブのプロジェクトおよびその他の行事や活動に少なくとも12時間参加していない場合
- ④ 半年間に所属するクラブの例会に30%出席していない場合

(標準ロータリークラブ定款第15条第2～5節)

※②③④についてはクラブ細則で本規定の例外を設けることができる。



会員の選出は、現会員の推薦により所定の手続きを経て、クラブ理事会の承認を得ることによって決まります。

会員資格条件 (Qualifications)

善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、職業上および（または）地域社会でよい評判を受けており、地域社会および（または）世界において奉仕する意欲のある人。

会員の種類 (Kinds)



1. 正会員 (Active Membership)

ロータリークラブの正会員。一つの職業分類に属し、会員として選出された人で、RI定款・細則に定められている会員としてのすべての義務と責務を遂行し、会員が得られるすべての恩恵を受けることができます。

2. 名誉会員 (Honorary Membership)

名誉ロータリアンとも呼ばれます。ロータリークラブを訪問する権利はありますが、投票したり、クラブ役員に就任したりすることはできません。クラブは、人道的活動への尽力や、ロータリーの価値観の模範的な実践などを理由として、名誉会員としての身分を与えることができます。

職業分類 (Classifications)

多くの会員は、特定の業種や専門分野における活躍が認められて入会します。ロータリーでは、この特定の業種や分野を、「職業分類」と呼んでいます。ロータリークラブの会員基盤は、各地域社会に存在するビジネスや職業を幅広く反映しており、これによって、クラブの活動や考え方に多様性がもたらされています。ロータリアンは、ロータリーにおいて各職業を代表する一方で、各業界においてロータリーを代表しています。

クラブは、職業分類の慣行を慎重に検討し、現代の事業や専門職、および社会奉仕活動の環境に合わせるために必要であれば、職業分類を大きく解釈します。(ロータリー章典4.030.) 何らかの団体に所属して、地域社会の奉仕活動に従事しているのであればその活動が職業分類となり得る可能性もありますし、もしそのような活動に従事されていない場合は、専業主婦(夫) ("Stay-at-home activity" あるいは "Family Business") のような分類も容認されます。各クラブは、一事業、一専門職、または一種類の社会奉仕に偏らないバランスの取れた会員構成が求められています。
(RI定款第5条第2節 (b) 参照)

会 長 (President)

クラブを代表すると同時にクラブ運営の責任者。会長は就任の18カ月以上2年前までに会長として年次総会において選出されます。前年度に会長エレクトになります。

幹 事 (Secretary)

文字通りクラブの『幹』としてクラブ管理の実務的事項をすべてとりまとめます。

会 計 (Treasurer)

理事会の意向を受けて幹事とともに予算・決算の実務を行います。

会場監督 (SAA : Sergeant-at-arms)

SAAは武装軍曹の意。例会場における最高の権限を持つ役員として、例会場の気品と風紀を守るだけでなく、例会場を設営し管理するという大役です。

◆クラブ役員 (Club Officer)

会長、直前会長、会長エレクト、幹事、会計とし、1名または数名の副会長を役員に含めることができ、これら全員が理事会メンバーとなります。また、会場監督も役員ですが、クラブの細則で、理事会のメンバーとすることができます。

◆クラブ理事 (Club Director)

理事会は、クラブの意思決定機関であり、クラブの役員で構成されます。理事会は、少なくとも月1回会合を開きます。各クラブは、会長、会長エレクト、幹事を選び、これらはすべて理事会のメンバーとなり、直前会長も理事会のメンバーとなります。副会長が選ばれた場合には、副会長も理事会のメンバーとなります。このほか、クラブ役員には会計、会場監督、そのほかの会員も含めることができ、これらの役員は、クラブ細則の定めに従って、理事会メンバーとすることができます。

◆クラブ理事会 (Club Board)

理事会メンバーは選挙されたクラブの理事と役員にて構成されます。また、理事会の会合は少なくとも月1回開くことを期待されています。クラブのあらゆる事項に関する理事会の決定は最終的なものであって、クラブに対して提訴する以外にはこれを覆す余地はありません。しかしながら、会員身分の終結の決定に関しては、会員は標準ロータリークラブ定款第15条第6節の規定に従って、クラブに提訴するか、調停または仲裁に訴えることができます。理事会は全役員および全委員会に対して総括的管理権を持つものとし、正当な理由がある場合は、そのいずれをも罷免することができます。

クラブの主な会合

クラブ例会 (Regular Meetings)

原則的に毎週1回、細則に定められた日および時間に、定期の会合を開かなければなりません。この会合は、直接顔を合わせての例会とオンライン例会の組み合わせなどは自由です。

また、クラブによっては、細則の定めで、例会と最低月2回以上とすることができますし、例会のスタイルも様々な形をとることができます。

クラブ理事会 (Club Board Meetings)

毎月一回定例理事会が開催されます。理事会はクラブ運営上の最終の決定権と責任をもっています。理事会の議事録は、開催後60日以内に全会員が入手できるようにします。

クラブ年次総会 (Club Annual Meeting)

毎年12月31日までに年次総会が開催され、役員選挙が行われます。

ガバナー公式訪問 (Official Visit Club Meeting)

各クラブがその所属しているR1役員であるガバナーが公式に接触する年一回の大切な機会です。地区ガバナーはその年度のR1テーマを解説するとともに実施についてロータリアンの意欲を喚起させます。また、クラブの実情や問題点について率直に討議し、指導をします。

クラブ協議会 (Club Assemblies) (クラブアッセンブリー)

クラブのプログラムと活動もしくは会員教育について協議するために開かれる、クラブ役員、理事、委員長の会合ですが、すべての会員も出席することを奨励されています。

クラブ討論会 (Club Forums) (クラブフォーラム)

奉仕理念、クラブ管理運営、委員会活動などの問題点について自由な意見を述べ合う討論会です。

家庭集会・情報集会 (Informal Meetings)

会員宅などを持ち回りして、少人数で開く非公式な懇談会であり、アットホームな雰囲気から公式な会合では言いだせない初歩的な質問なども気安くきりだせる会合。主に、ロータリー情報伝達を目的に行われるものが情報集会となります。

地区とは、管理の便宜上結びつけられた、一定の地理的な地域内にあるロータリークラブのグループです。ロータリー地区の活動ならびにその組織は、個々のロータリークラブがロータリーの目的を推進するのを助けることを唯一の目的とするものであり、ロータリークラブや個々のロータリアンが提供する奉仕を減殺することがあってはなりません。



ガバナー (Governor)

ガバナーはR I 理事会の一般的な指導、監督の下に職務を行う、その地区におけるR I の役員です。ガバナーは地区内のクラブに対する指導と監督を行い、ロータリーの目的を推進する任務を課せられています。また、ガバナーは、地区内のクラブを啓発し、意欲を与え、地区内の継続性を確保します。

副ガバナー (Vice Governor)

ガバナー指名委員会は、1名のパストガバナーを副ガバナーに選出します。副ガバナーの役割は、ガバナーが一時的あるいは恒久的にガバナーとしての任務の続行が不可能となった場合に、ガバナーの後任となることです (RI細則6.120.1.)。地区が通常のカバナー選挙のプロセスを用いて副ガバナーを選出するのが最も奨励されている方法です。

ガバナー補佐 (Assistant Governor)

ガバナー補佐はガバナーエレクトにより任命され、指定されたクラブの運営に関してガバナーを補佐する責務を担います。

地区委員会 (District Committees)

地区委員会は、ガバナー補佐の助言を得てガバナーが正式に設定した地区目標の実行を担うための組織です。委員会は以下のような現行の管理運営機能を受け持つために任命されます。



- 会員増強 (入会・参加促進)
- 新クラブ結成促進
- 財務
- 公共イメージ
- 地区大会
- ロータリー財団
- 国際大会推進
- 地区研修
- 地区プログラム (インターアクト、ローターアクト、ロータリー地域社会共同隊、ロータリー友情交換、ロータリー親睦活動、ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)、青少年交換など)
- 奉仕活動 (クラブ奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代 (青少年) 奉仕、職業奉仕)
- 学友
- 会員特典

国際ロータリー (RI) は全世界のロータリークラブの連合体です (RI 定款第 2 条)。

RI の目的 (RI 定款第 3 条) は次の通りです。

- 1) ロータリーの目的を推進するようなプログラムや活動を追求している RI 加盟クラブと RI 地区を支援すること
- 2) 全世界にわたって、ロータリーを奨励し、助長し、拡大し、管理すること
- 3) RI の活動を調整し、全般的にこれを指導すること

RI 会長 (RI President)

会長は、RI の最高役員です。会長は、RI の第一の代弁者であり、国際大会と RI 理事会の会合を主宰し、事務総長に助言し、そのほかの関連する任務を行います。

RI テーマ (RI Theme)

国際ロータリー (RI) のテーマとは、RI 会長から、毎年発表されるロータリー・メッセージのことです。このテーマは、ロータリー年度を通じて、奉仕の実践に最も重要なものです。テーマは、会長の抱負を端的に物語るとともに、そのロータリー年度の進路を示すものでもあります。



ロータリー戦略計画 (Rotary Strategic Plan)

2001-02 年度、国際ロータリーは奉仕の第 2 世紀を迎え、組織を導く長期的な計画の立案を始めました。以来この戦略計画は定期的に見直され、更新されています。

2009 年、理事会は、RI 戦略計画を大幅な見直しを行いました。それ以降も更新されています。

ロータリーがこれからもダイナミックな組織であり続け、世界中の地域社会に貢献していくための将来への指針となるのが、ロータリー戦略計画です。

使命 (Mission)

ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することです。

ビジョン声明 (Vision Statement)

私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

中核的価値観 (Core Values)

私たちの価値観は、組織の考え方と方向性を定める原動力であり、戦略計画においても重視される要素です。

理事会は、国際ロータリーの戦略計画の一環として、奉仕 (Service)、親睦 (Fellowship)、多様性 (Diversity)、高潔性 (Integrity)、リーダーシップ (Leadership) という中核的価値観を採択しました。(2010 年 11 月理事会会合、決定 38 号)。

- ▶ ロータリー財団は、国際ロータリーの6人目の会長アーチ・クランフ氏の提唱で1917年に基金として発足し、1928年国際大会で「ロータリー財団」と名付けられました。
- ▶ ロータリー財団は、「非営利財団法人」で、博愛、慈善、人道的かつ教育的目的をもつ効果的なプロジェクトに補助金を支給しています。
- ▶ ロータリー財団の正式名称は、「国際ロータリーのロータリー財団」です。
- ▶ ロータリー財団の構成員は「国際ロータリー」唯一です。
- ▶ RI会長がRI理事会の承認を得て、15名の管理委員を任命します。全業務は、管理委員会によって処理されます。
- ▶ RIの事務総長がロータリー財団の事務総長となります。
- ▶ 国際ロータリーとロータリー財団は一体です。



ロータリー財団の使命

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

ロータリー財団の標語

『世界でよいことをしよう (Doing good in the world)』

奉仕活動と資金調達は車の両輪

- 人類は一つです。世界中の貧困や飢餓が減少し、社会が向上し、世界が平和にならない限り、私たちの真の平和はありません。
- 私たちのロータリー財団が地域社会や国際社会への奉仕をさらに強化増大していくためには、奉仕活動の充実と資金面の援助が大変重要になります。



勉学または研究のために来日し、わが国の正規の学校または研究機関に在籍する外国人留学生に対して奨学金を支給し、彼らの留学の目的を支援するとともに、ロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的とする。
 〈事業内容〉 奨学金の支給／世話クラブとカウンセラー制度／ロータリアンと留学生との交流／国内外での学友会活動



ロータリー米山記念奨学会の歴史

平和を愛し、青少年に手をさしのべた“日本のロータリーの父”米山梅吉氏の遺徳を記念する事業として、1952年、東京ロータリークラブは日本で学ぶ外国人留学生を支援する国際奨学事業を始めました。やがてそれは、日本全国のロータリークラブの共同事業として発展し、1967年に文部省（現・文部科学省）を主務官庁とする（財）ロータリー米山記念奨学会が設立されました。（2012年1月に公益財団法人に移行）65年の歴史をもち、世界に類を見ない日本独自の多地区合同活動となっています。

2017年7月に財団法人として創立50周年を迎えました。

ロータリー米山記念奨学金

ロータリー米山記念奨学金は、（公財）ロータリー米山記念奨学会が行う国際奨学事業です。これは、ロータリー財団の奨学金や政府奨学金のように学費や生活費のすべてを保証するものではなく、私費留学生の費用の一部を補助する趣旨のものです。米山奨学金の対象は、世界のすべての国や地域から日本に留学している学生となっています。各地区の米山記念奨学委員会が指定校を定め、推薦された学生を面接選考して合格者を決定します。2017学年度の奨学生数は793人、事業費は13億円（2016-17年度決算）と、国内では民間最大の国際奨学事業となっています。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で19,808人（2017年7月現在）。その出身国は、世界125の国と地域に及びます。

世話クラブ・カウンセラー制度

奨学金による経済的援助だけでなく、「世話クラブ・カウンセラー制度」を設けて、ロータリーとの深い交流と精神的ケアを重視しているのが特長です。

奨学生一人ひとりに、地域のロータリークラブから世話クラブが選ばれ、さらにその会員の中からカウンセラーが付いて、奨学生との交流を深め、彼らの日本での生活が心豊かなものになるように配慮しています。

7月



1月

職業奉仕月間



8月

会員増強・
新クラブ結成
推進月間



2月

平和と紛争予防/紛争解決月間
ロータリー創立記念日(2月23日)
世界理解と平和の日 (2月23日)



9月

基本的教育と
識字率の向上月間
ロータリーの友月間



3月

水と衛生月間
世界ローターアクト週間
(3月13日を含む週)



10月

米山月間
経済と地域社会の発展月間
学友参加推進週間 (10月7日を含む週)



4月

母子の
健康月間



11月

ロータリー財団月間
世界インターアクト週間
(11月5日を含む1週間)



5月

青少年奉仕
月間



12月

疾病予防と
治療月間



6月

ロータリー親睦
活動月間



(注) 9月のロータリー友月間、10月の米山月間は日本独自の特別月間です。